

# ICFリハビリテーションシート

Rehabilitation Sheets based on International  
Classification of Functioning, Disability and Health

Hiroshi Yamane ; OTR, PhD  
School of Health Sciences  
Faculty of Medicine Kyoto Univ.



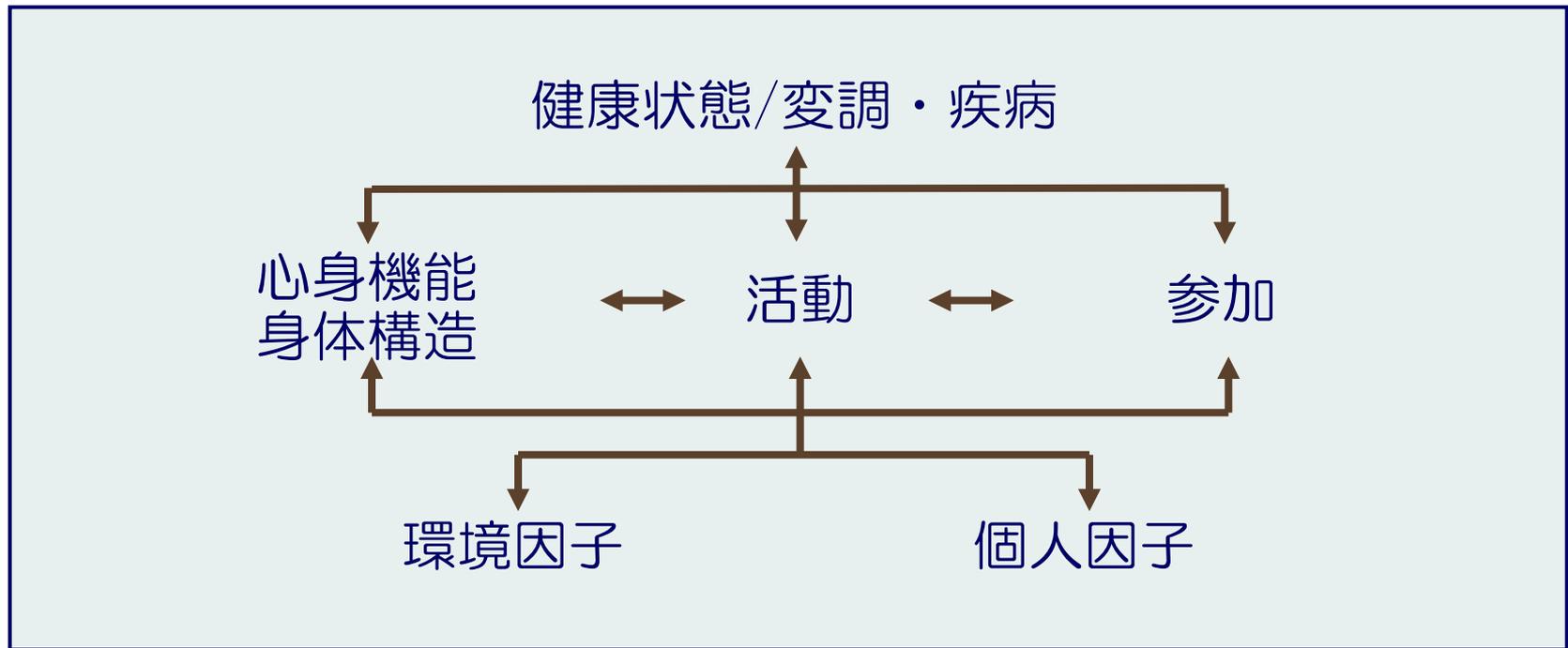


カンファレンスシート：多職種カンファレンス用  
カウンセリングシート：クライアントとの面接用

本シートは，ICFをマザーモデルとした臨床モデルです。  
コピーおよび活用にあたって，著作権の規定はしませんが，  
出所を明らかにして利用してください。

# 対象の理解：ICF国際生活機能分類

International Classification of Functioning, Disability and Health ; WHO 2001



medical model 医学モデル  
social model 社会モデル



bio-psycho-social model  
生物心理社会的モデル

# カンファレンスシートの概要

年齢

(年表：人生のエピソード)

心身機能・構造

治療内容

評価概略

個人因子

焦点化  
リハゴール  
長期目標  
短期目標

活動

参加

家族構成/関係

環境因子

援助計画

住居経済事情

# カウンセリングシートの概要

年齢

(年表：人生のエピソード)

心身機能・構造

治療内容

活動

希望  
特技や趣味

あなたの目標  
・半年～1年  
・当面の目標

参加

家族構成/関係

環境因子

援助計画

住居経済事情

# 利用時期



## カンファレンスシート

クライアントの回復レベルにかかわらず，治療・援助の開始初期からもちいることができる

クライアントの状況を把握できているかをチェックするためにも，開始初期からもちいることが望ましい

## カウンセリングシート

できる限り早期からもちいたほうがよいが，クライアント自身，もしくはクライアントとの面接により記入するため，ある程度現実感が戻り，言語的なコミュニケーションが可能な時点からもちいるほうが現実的

# だれが記入するか？



## カンファレンスシート

クライアントの治療・援助にあたる担当者が記入  
もしくは関係スタッフ全員でそれぞれの情報を記入

## カウンセリングシート

原則として対象者自身もしくは家族が記入  
難しい場合は、話を聞き内容を確認しながら担当者が記入

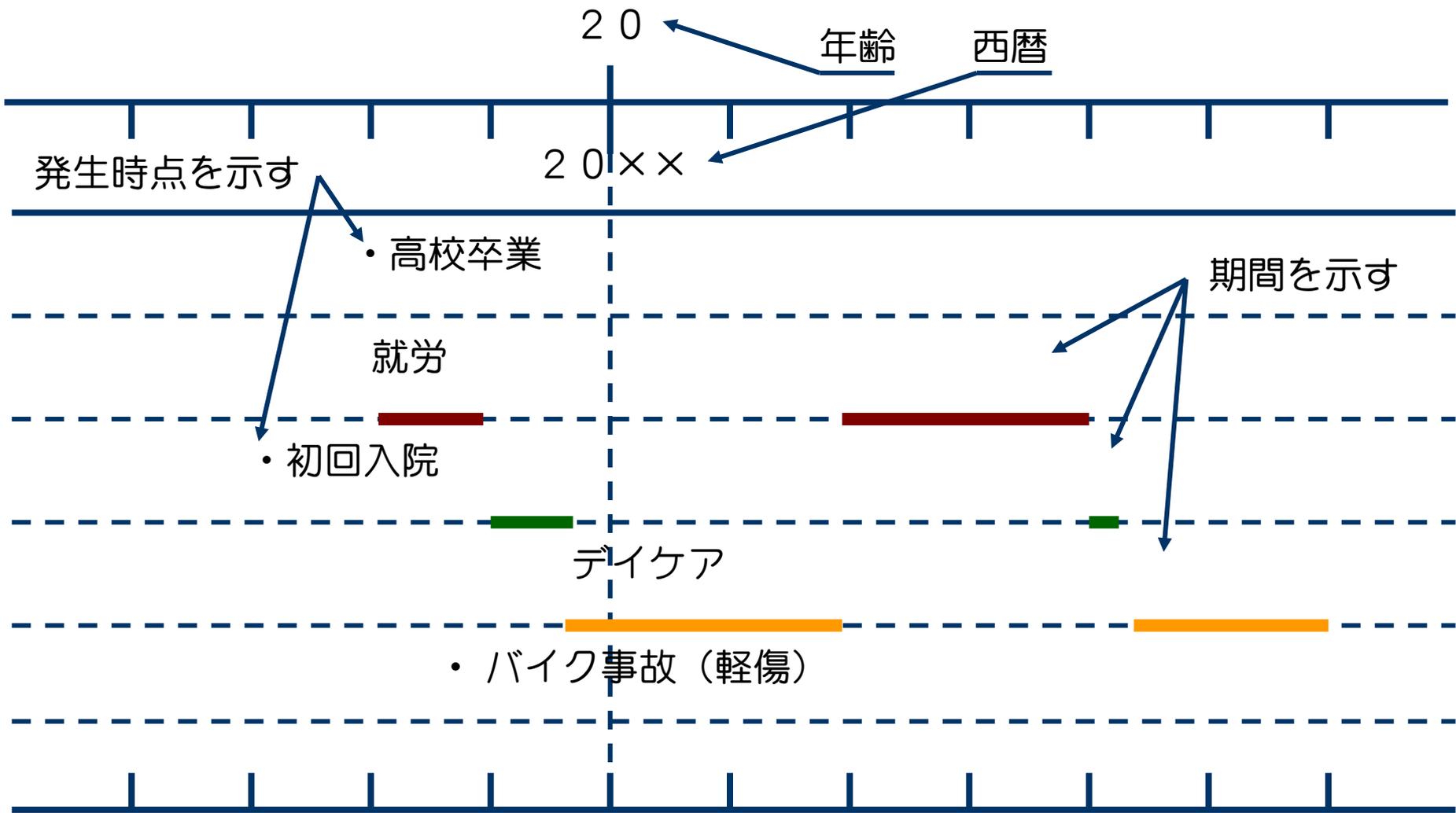
# 年表の利用



**治療・援助者**：対象者の生活をストーリーとして読みとる  
リハビリテーションゴールの決定

**クライアント**：生活史の振り返りによる自己認識  
客観的な自分の生活の見直し

年表の部分には，ライフサイクルにおける重要なできごと  
たとえば，生育歴，学歴，職歴，発病，入院歴，治療歴，  
家族内や社会生活における役割や習慣などを記入



生活をストーリーとして読み取る

ライフサイクルにおける重要なできごと，生育歴，学歴，職歴，発病，入院歴，治療歴，家族内や社会生活における役割や習慣などを記入

# 心身機能・構造

現在の状況と危機時の状況



合併症や加齢の影響など現疾患に直接由来しないものも含み、現在の身体機能や精神機能の状態を記入

## 精神認知機能

- ・ 全般的な精神機能：意識，見当識，知能，性格，活力と欲動，睡眠・・・
- ・ 個別的な精神機能：注意，記憶，精神運動，情動，知覚，思考，認知，言語，計算・・・

## 感覚運動機能

## 身体の状態

# 活動

現在の状況と必要な援助



身辺処理：食事，排泄，睡眠，整容，・・・

生活管理：金銭，時間，物品，安全，健康・・・

家事行為：掃除，洗濯，調理，買い物，育児・・・

コミュニケーション：表現，意思表示，聞く，理解・・・

対人関係：基本的関係，対象による違い，恒常性・・・

作業遂行：認知・課題遂行，身体的側面，心理的側面・・・

移動・社会資源利用：公共機関，交通機関，通信・・・

コミュニティライフ 社会生活 市民生活 職業生活

# 参加

日常生活や社会参加に対する本人の意志・意欲  
と取り組み



意思・意欲

日常生活  
コミュニティライフ  
社会生活  
市民生活  
職業生活

参加状態

必要要件の不足  
環境の不適應不備  
誤解，理解の不足

# 個人因子

個人の生活史や今の生活における特別な背景  
心身の機能・身体構造以外のその人の特徴

性別，年齢，生育歴，教育歴，職歴，経験，性格  
使用言語，習慣，役割，趣味，特技など



# 環境因子

個人が生活する環境で生活活動や参加を促進するものと  
制限・制約となるものを記入

人的環境 : 支援者とその内容, 程度, 地域の態度

物理的環境 : 交通機関, 公的機関, 施設, 店舗等の  
有無と利用のしやすさ

制度, サービス : 利用できる制度やサービスの内容

住居, 経済事情





Now let's try !